抜き打ち調査実施報告書

法人名	社会福祉法人生活クラブ
施設名	生活クラブ風の村特養ホーム八街
実施日	開始 2022年 9月29日(木) 0時40分
時間	終了 2022年 9月29日(木) 9時30分
評価者名	是枝祥子 本間郁子 (2名)

※結果(運営基準の順守)

抜き打ち調査	O:40 にインターフォンを押すと宿直職員が対応し
	た。抜き打ち調査実施書を手渡し、評価者証を提示し
の職員の対応	た。打ち合わせの後、0時55分から調査を開始した。

夜勤者数	11 ユニット(+ショートステイ1ユニット)
	定員96名で夜勤者6名 (ショートステイ 17名の
	夜勤者含む) (運営基準は6名。重要事項説明書通り)
拘束の有無	全居室(自室から鍵をかけている人以外)を確認した
	結果、拘束は無し。
コールの位置	コールの位置はすべて適切。コールが見えない、ベッ
	ドから離れているところは一人一人職員に確認し適
	切と判断した。
プライバシーの	全居室ドアが閉まっており、プライバシーが守られ、
確保	排泄介助も適切であった。
	 無し。
不適切な対応	- 施間、ほとんどの方が安心して休まれている様子を伺
	うことができた。ユニットによってはコールが頻回に
	鳴る時間帯もあり、職員は小走りに対応していたが居
	室に入る時は言葉使いも丁寧であった。
	不適切な状況は見受けられなかった。

【新型コロナ感染対応が継続される中での調査について】

新型コロナ感染者は出ているものの行動制限はない状況。しかし、高齢者施設ではクラスターの発生などが報告されている中で、まだまだ強い防止対策が継続されている。

今回は、風の村特養ホーム八街において、家族の訪問制限が緩和され、最も 感染者数が減少した時期に実施した。

昨年同様、人権にかかわる「拘束の有無」「コールの位置が適切」「不適切ケアの有無」、感染防止の対応として「換気の状況」などを主に確認しました。

【特記】

深夜、インターフォンを数回押すと、宿直の職員が対応してくれました。玄 関では、身分証明書の提示を行い、「抜き打ち調査実施書」を手渡した後、職員 は相談室に荷物など置く場所として案内してくれました。

評価者 2 人に加えて、評価者養成研修受講中の人(男性)が同行しました。 同行者は本間と一緒に打ち合わせ後、調査に入りました。

「生活クラブ風の村」の理念、基本方針を夜勤者1人に尋ねることになっていましたが、今回、仮眠中の人がいたり、コールがいつもより頻回に鳴るなど、忙しく移動していたため、聞くことを逸してしまいました。

夜勤職員は、コール対応に小走りに移動し、居室に入ると入居者との会話が聞こえてきました。和気あいあいと笑い声が聞こえ、言葉使いは丁寧語でした。 どんなに忙しくても、入居者に笑顔で接し、優しさと温かな雰囲気が伝わってきます。

入居者の中には、普通の服を着てずっと起きている方、中廊下を歩き回り、 疲れるとリビングのソファで寝ている方もいました。ある人は、トイレに自分 で行くけれど、転倒の可能性があり見守りは欠かせない人もいます。

拘束ゼロ、居室は臭いもなく、コールは適切な場所に置かれ不適切ケア(言動)は見たり・聞いたり、感じるようなことはありませんでした。

一部コールがベッド上に見えない、届かないところに置かれている居室もあり、写真を撮り記録しました。朝、出勤してきた生活相談員に一人一人確認しました。「認知症の人でコールを押すことができない」「コールを引っ張ったり、

壊してしまう」「ターミナル期にある」など、職員の説明があり、適切であると 判断しました。

各ユニットの食卓テーブルには敬老会の花が活けられていました。居住環境 は以前よりも整理整頓が良くなっています。一方、冷蔵庫はどのユニットも汚 れが目立っていました。週に1回、定期的・継続的に夜勤者がするように検討 することも一案です。

朝の起床は、一人一人ゆっくり起床し、ユニットによって食事時間はそれぞれで、入居者の生活リズムに合わせて支援が行われていました。

入居者の整容はきちんとしていました。

各ユニットの玄関には、風の村特養ホーム八街の基本方針が額に入れられて 掲示されていました。この基本方針を宣言しますということに職員の思いを 感じることができます。

これまで、何度か指摘されていた本町の玄関の表札がなかったり、あってもドアの一番高いところに掛けられていました。今回も同様でユニット名を知ることができないため、確認に時間が要する状態であった。が、職員の説明では、現在、木製の表札を作成中であり、近々完成するとの説明がありました。とても楽しみです。

昨年度まで続いた大幅修繕のために本町 2 階の広場に作られたウッドデッキが取り除かれていましたが、ウッドデッキが取り戻されつつありました。 冬に日向ぼっこできるよう早めの完成を待ち望んでいます。

玄関には、来訪者が良く見える場所に昨年度実施した「抜き打ち調査結果」 とステッカーが額に入って掲示されていました。

高齢者施設では新型コロナ感染対策の強化を緩めることなく、継続されています。職員の大変さを伺うことができ、抜き打ち調査での配慮をずっと検討してきているものの、職員は入居者に要望に応え、笑いあい、信頼関係がしっかり築かれているのを感じとることができました。